

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第82号 2023年9月25日発行

いわき市産業振興部

【全国】 4か月連続で“緩やかな回復”！
先行きリスクに中国の経済の不透明感！

【いわき市】 回復基調が拡大！ ただ直近では
物価高、人手不足等で停滞気味！

【経済・景気四方記事】 “高い健康寿命は
健康意識の高さにある！”等
<Q=“四半期”>

■ 全国動向

●「GDP」(23年第ⅡQ。1次速報値*。8/15)の実質値は1.5%*1と3Q連続のプラス。物価高、巣籠需要の一巡など個人消費の落ち込みで、内需が低調だった。外需は輸出増加(自動車とインバウンド*2等)と輸入減少(原油、衣料品等)が成長率を押し上げた。なお、年成長率は6.0%でコロナ前水準を上回った。

*1 9/8 好評の改定値は1.2% (年率4.8%) に下方修正。

*2 インバウンド消費は計算上輸出に計上される。

●「月例経済報告(8月)」(8/29)の基調判断は、5月以降、4か月連続同じ表現とした。自動車の輸出増加等で輸出判断が上方修正された。先行きでは、世界的な金融引

区分	前期	今期
GDP(実質) (年率換算)	0.9 (3.6)	1.5 (6.0)
個人消費	0.6	▲0.5
民間住宅 設備投資	0.2	1.9
政府消費	1.8	0.0
公共投資	0.1	0.1
輸 出	1.7	1.2
輸 入	▲3.8	3.2
輸 入	▲2.3	▲4.3

注：前期は確報値、今期は速報値。

基調判断	緩やかに回復
個人消費	持ち直している
設備投資	持ち直している
住宅投資	概ね横ばい
輸 出	持ち直しの動き
輸 入	概ね横ばい
生 産	持ち直しの兆し
企業収益	緩やかに改善
雇用情勢	改善の動き
海外経済	持ち直している
先行き判断	緩やかな回復

目 次

全国動向：4か月連続で“緩やかな回復”！
先行きリスクに中国の経済の不透明感！

いわき市の動向：回復基調が拡大！ ただ直近では物価高、人手不足等で停滞気味！

経済・景気四方記事：全国6件、いわき市発1件

I 経済・景気調査：2023年第Ⅱ四半期(4~6月)

1. 経済の動き (主要部門別・主要経済データ) 3
2. 景気の動き (景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：2023年8月時点 15

締め、中国経済の先行き、物価上昇等のリスクをあげている。

■ いわき市の動向

23年第ⅡQ(4-6月)は、波動性(住宅等)、季節性(公共事業費等)がある部門を除き増伸しているものが多く、回復基調は更に拡大している。ただ直近8月の「景気ウォッチャー調査」では、“拡大基調”の停滞を伺わせる結果が出ている。懸念材料は原料高、人手不足、ALPS処理水等。

● 経済・景気調査

【需要動向】大型店販売額は5Q、自動車台数は4Q、建築確認申請は5Q、観光は6Q、それぞれ連続で前年水準を上回った。対して新設住宅着工戸数は3Q連続で前年水準を下回った。

【企業動向】中央卸市場取扱高は7Q連続して前年水準を上回った。倒産件数は5件、倒産負債額は28.7億円に達した(前期は3件、0.1億円)。

【雇用動向】新規求人倍率と有効求人倍率は、対前年比で3月以降マイナスが続いており、雇用保険受給者数は増加傾向にある。

● 景気ウォッチャー調査(23年8月時点)

全業種の“現状DI”は1.5割、“先行きはDI”▲5.1割と停滞気味である(右表)。詳細を“回答内容”(本調査詳細に記載)でみると、現状は“やや良い”36.6%、“変わらない”36.6%、また先行きは“やや良くなる”28.2%、“変わらない”40.8%と、ともに停滞感がある(%は項目毎の全回答に占める構成比)。なお、“自由意見”では、物価高、人手不足に関するものが多いほか、ALPS処理水海洋放出による影響を懸念するものが目を引く。

いわき市の動向(4-6月期)

区分	前年同期比
個人消費	1.6%
自動車登録	25.8%
新設住宅	▲32.0%
公共工事	9.7%
観光需要	12.9%
卸売市場取扱	13.3%
輸入通関実績	▲16.9%
法人市民税	▲17.8%
企業倒産件数	5件
新規求人倍率	1.91倍
有効求人倍率	1.13倍

注：項目名は略記。雇用は6月。

景気ウォッチャー調査抜粋(23/8)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	前回差	今回	前回差
全業種	54.6	1.5	51.8	▲5.1
家計	61.2	3.8	56.1	▲5.2
小売	61.4	17.9	60.2	1.5
飲食	75.0	▲8.3	56.3	▲22.9
サービス	61.7	▲6.6	48.3	▲8.4
住宅	53.1	▲4.0	59.4	▲4.9
企業	35.0	▲7.2	36.7	▲8.6
雇用	50.0	5.0	53.6	3.6

(産業チャレンジ課)

■ 経済・景気四方山記事

(原情報の要約・意識や筆者の解釈・所感を含む)

● 高い健康寿命は、健康意識の高さにある！

令和2年の「生命表」(厚労省)によると、川崎市麻生区が男84.0歳、女89.2歳と、男女初めて全国トップとなった。本市は、男80.4歳、女86.8歳。(全国では、男81.1-81.5歳、女87.0-87.5歳が最も多い分布)。個々の差は、生活環境、塩分のとりすぎ等食生活等を分析しないと解明できないが、麻生区の調査では、運動習慣の実行、生活習慣の改善、各種検診の受診、早期治療、友人近隣との交流等介護予防等が他地域に比べて高いなどから、健康意識を高めることが長寿に結びつくと言えそうだ。(5/12「日経新聞」)

● EBPM(根拠に基づく政策立案)の導入！

政府は、今年度から約5000の事業予算すべてにEBPMを導入することにした。現状は事例や経験で政策立案が行われるため、政策と効果やコストとの関係が明示されない場合が多い。EBPMを取り入れればそれらの因果関係や政策効果を検証しつつ政策立案を進めることができる。本市での導入はいかがか。(5/30「日経新聞」)

● 出生率、西高東低が鮮明！本県は最下位！

22年の合計特殊出生率は1.26と過去最低、7年連続で低下となった。都道府県別に上位から①徳島県0.16、②宮崎県0.15、③鳥取県0.13、下位から④福島県▲0.22、⑤岩手県▲0.20、⑥秋田県▲0.16と“西高東低”が顕著。高位県では、出産後の復職支援、共働き子育て環境の整備等が、低位県では女性の頑張りを応援する空気がない、など女性が活躍する地域ほど出生率が高くなっており、働きながら育てやすい環境を整えるかで、自治体の明暗が分かれている。(7/1“データで読む地域再生”「日経新聞」)

● “都市特性”でいわき市は81位以下！

日本の政令指定都市、県庁所在地、人口17万人以上の136都市の都市特性を、①経済ビジネス、②研究・開発、③文化交流、④生活居住、⑤環境、⑥交通・アクセスの6分野の定性・評価したもの。から評価順位づけた調査が発表された。記事内容のほとんどは首都圏内ないし首都圏近隣都市で

あるが、地方都市について調査報告書【解説1】から抜粋してみた。各都市は現在の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案・実行すべきであろう。(7/19「日経新聞」)

● “令和臨調”、「東京集中是正を」！

“令和臨調”【解説2】は、去る6月、日本の人口が70年の役870万人に減り、外国人が約1割を占めるとの国の推計をもとに、産業、教育、外国人人材の活用について政策提言を行っている。今回は、その一環として各県の知事有志による“知事連合”と、人口減少問題について検討し、東京一極集中の是正と地方の多様化等が議論された(8/8「日経新聞」)

● 広がるCBC(地域企業)、街に活力！

CBC(Community Based Company)とは、地域に根ざし地域とともに発展する企業や団体のことである。かつてあった同様な組織と違い、各地域内外の企業や団体が互いに協力し合うという仕組みに新しさがあり、全国各地で育ち始めた。①マドラー(北海道厚別市)、②シェアビレッジ(秋田県五條目町)、③菜日(松本市)、④リ・パブリック(福井市)、⑤キシバリイ(鹿児島市)等である。本市においても起業が期待される。(8/17「日経新聞」)

● 【いわき市発】脱炭素化を目指す新組織！

9月4日、いわき市の環境関連事業15社は、脱炭素化を目指し、福島高専と連携して「いわきCN(カーボンニュートラル)人材育成コンソーシアム」を結成したと発表した。各事業者のほか一般、学生等を対象に、福島高専との共同講座を開講し、カーボンニュートラルに関する専門的な人材を育成する。(9/6いわき市産業チャレンジ課)

【解説1】「日本の都市特性評価」(調査報告書)

86のデータを6分野に分けてスコア化した。6分野の主要スコアといわき市のランクは以下の通り。①経済ビジネス(81位以下)、②研究・開発(81位以下)、③文化交流(45位)、④生活居住(81位以下)、⑤環境(自然環境・快適性等:24位)、⑥交通・アクセス(81位以下)。総合スコアは81位以下。森記念財団都市戦略研究所による。

【解説2】“令和臨調”(令和国民会議の略称)

“構造改革問題。特に世代や党派、立場を超えて取り組まなければ前に進まない課題”に取り組む民間有志約100による組織。22年6月発足。統治構造、財政・社会保障、国土構造の3部会を持つ。各種組織とテーマの検討並びに合意形成活層を行いながら進めるのが特徴。

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和5年第Ⅱ四半期（4～6月）

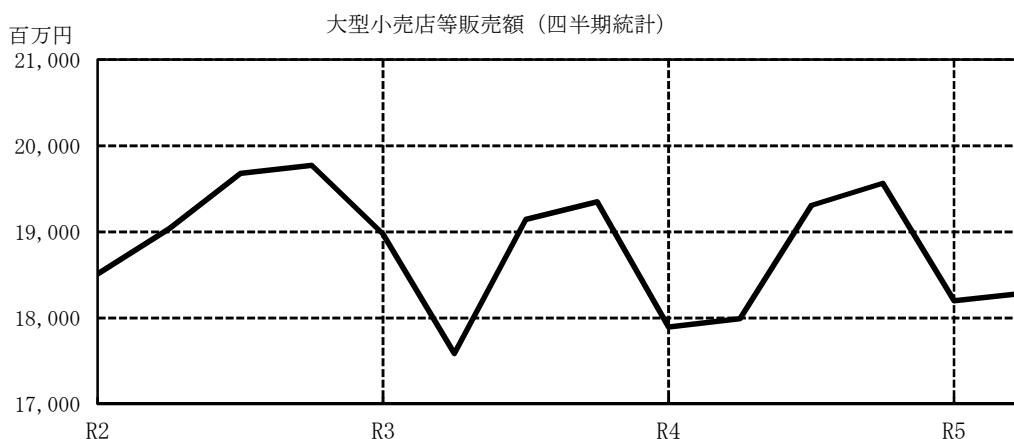
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和5年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

① 需要動向

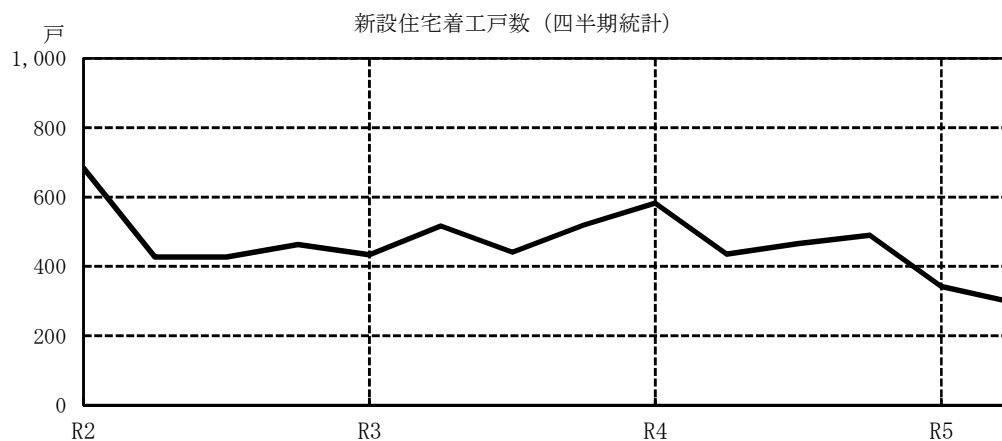
【個人消費】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大型小売店等販売額は約183億円（前年同期比1.6%の増加）となり、5四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は3,935台（前年同期比25.8%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は296戸（前年同期比32.0%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。

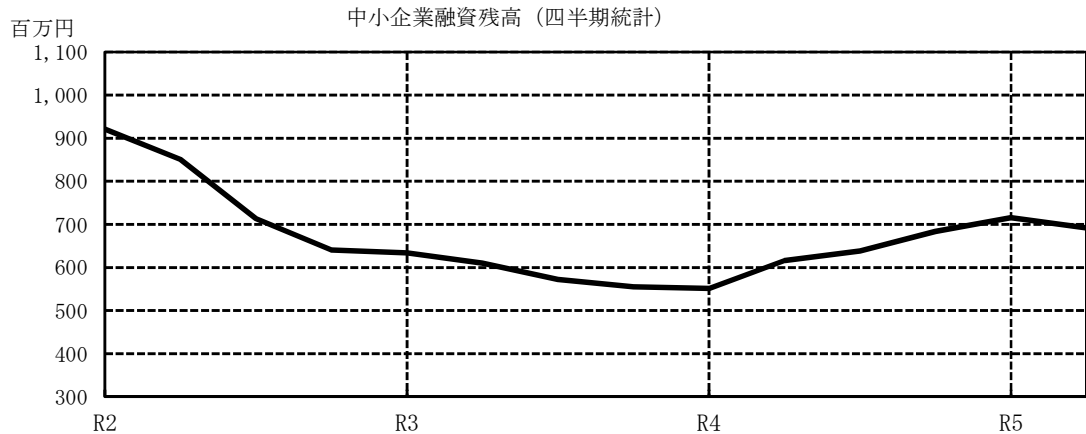
○ 公共工事等受注額は約62億円（前年同期比9.7%の増加）となり、3四半期振りに前年の水準を上回った。



【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、70.7（前年同期比12.9%の上昇）となり、6四半期連続で前年の水準を上回った。

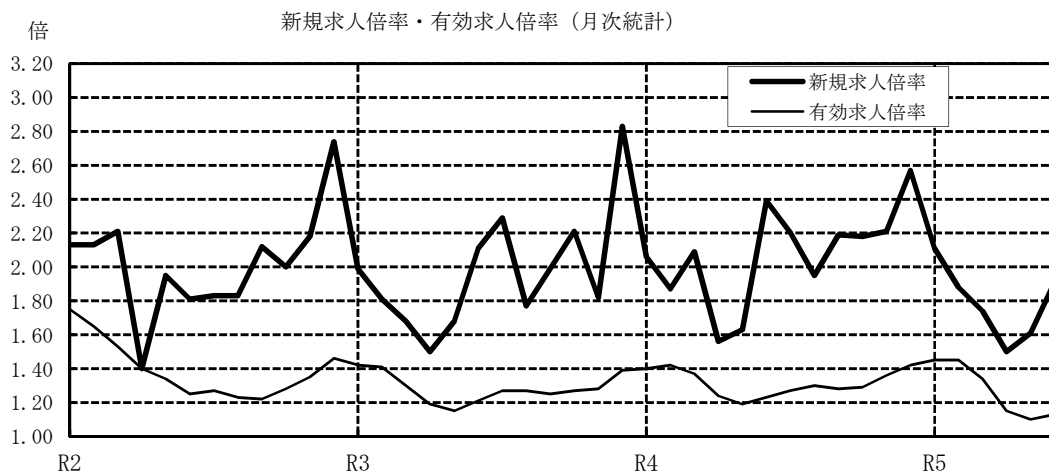
② 企業動向

- 【生産活動】** ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約37億円（前年同期比13.3%の増加）となり、7四半期連続で前年の水準を上回った。
- 【企業活動】** ○ いわき市中小企業融資残高は約6.9億円（前年同期比12.3%の増加）となり、5四半期連続で前年の水準を上回った。
- 負債1千万円以上の企業倒産件数は5件（前年同期比400%の増加（=悪化））となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】** ○ 6月の新規求人倍率は1.91倍（前年同月より0.48ポイントの低下）となり、4ヵ月連続で前年の水準を下回った。
- 6月の有効求人倍率は1.13倍（前年同月より0.10ポイントの低下）となり、4ヵ月連続で前年の水準を下回った。
- 第Ⅱ四半期（4～6月）の雇用保険受給者実人員は3,513人（前年同期比0.8%の増加(=悪化)）となり、令和2年第Ⅳ四半期以来、10四半期振りに前年の水準を上回った(悪化した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向														
	個人消費				建設需要						観光需要				
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	(H24・四半期平均=100)	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)		
【年次統計】															
平成30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	395	-0.8	678,555	-2.5	
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6	
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8	
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3	
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3	
【四半期統計】															
令和3年 III	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	47.4	-28.7	85,941	54.7	
IV	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	61.6	-1.6	107,458	-4.0	
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0	
II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3	
III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8	
IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4	
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3	
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	674	129.3	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2	
【月次統計】															
令和3年7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	21.0	20.4	27,895	217.7	
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	16.7	-37.9	33,102	81.2	
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	9.6	-56.3	24,944	-12.5	
10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	17.8	-11.7	33,000	-6.9	
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	21.6	-8.3	34,851	-7.5	
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	22.2	17.4	39,607	2.0	
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8	
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7	
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9	
4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8	
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3	
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6	
7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8	
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4	
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7	
10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3	
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3	
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5	
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6	
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7	
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6	
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0	
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	215	241.3	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2	
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	357	197.5	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2	
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市民 税課		

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合、速報値を含む。
 四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分 年 月	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高		小名浜港 輸入通関 実績		いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(%)	前年 同月比 (%p)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)
【年次統計】														
平成30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6	5,111	10.9
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
【四半期統計】														
令和3年 III	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3	862	-23.4
IV	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1	836	-23.9
令和4年 I	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	459	17.1
II	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	1,199	-2.0
III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	726	-15.7
IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
【月次統計】														
令和3年7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6	422	-34.7
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-	340	-1.5
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6	100	-25.2
10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0	78	-29.8
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5	703	-23.2
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5	55	-24.2
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	111	32.4
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	132	8.4
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	216	15.9
4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	114	3.5
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	283	-3.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	802	-2.2
7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	342	-18.9
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	295	-13.2
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	89	-10.6
10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関		いわき市産業チャンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）		

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
平成30年	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和3年 III	2	-50.0	545	74.1	-	-	-	-	-	-
IV	4	33.3	467	147.1	-	-	-	-	-	-
令和4年 I	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
II	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和3年7月	1	-	260	-	-	-	-	-	-	-
8月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
10月	2	100.0	116	28.9	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	351	254.5	-	-	-	-	-	-
12月	0	-	0	-	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
令和4年1月	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
7月	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター（前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比（各月末時点） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇用						その他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
平成30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	-
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	-
【四半期統計】													
令和3年 III	-	-	-	-	4,011	-12.0	1,806	-11.5	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-	-
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-	-
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-	-
【月次統計】													
令和3年7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	-	-	-	-	-
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9	-
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	-	-	-	-	-
10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-	-
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4	-
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-	-
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-	-
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3	-
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-	-
4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-	-
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8	-
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-	-
7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-	-
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2	-
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-	-
10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-	-
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1	-
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-	-
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8	-
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-	-
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9	-
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業戦略課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和5年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

（1） C I（コンポジット・インデックス）

① 概要

6月のCIは、先行指数が106.0、一致指数が89.2、遅行指数が88.7となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 6月は106.0ポイントで、3ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、建築確認申請受付件数（3ヵ月連続）、新設住宅着工戸数（2ヵ月連続）等の7指標、マイナスの指標は、いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI（2ヵ月振り）の1指標であった。

【一致指数】 6月は89.2ポイントで、5ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業生産指数（2ヵ月振り）、鉱工業出荷指数（3ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資残高（4ヵ月連続）、観光施設利用者指数（3ヵ月振り）等の3指標であった。

【遅行指数】 6月は88.7ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、雇用保険受給者実人員（逆）（3ヵ月振り）、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、法人市民税調定額（3ヵ月連続）、鉱工業在庫指数（3ヵ月連続）の2指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分	令和4年						令和5年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先行指数（C I）	94.3	92.7	95.3	94.5	93.6	93.4	91.9	91.7	89.5	95.7	97.4	106.0
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-2.83	-1.54	2.60	-0.78	-1.0	-0.17	-1.53	-0.14	-2.19	6.18	1.65	8.67
先行系列寄与度内訳												
1. 自動車新規登録台数	1.79	-0.29	0.83	0.04	0.39	0.62	0.51	0.56	0.23	3.54	-0.46	1.05
2. 新設住宅着工戸数	1.15	-1.79	1.90	-0.96	-0.13	1.85	-2.68	-0.02	2.02	-2.54	0.08	1.74
3. 建築確認申請受付件数	-3.19	3.73	-0.84	1.03	0.32	-1.40	-0.66	0.15	-3.56	3.71	3.79	2.92
4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.09	-0.16	-0.54	-0.39	-0.01	0.07	-0.28	-1.90	0.91	0.13	-1.86	1.69
5. 中小企業DI（全業種）	-0.04	-0.04	-0.02	-0.02	-0.02	-1.02	0.00	0.00	-0.78	-0.01	-0.02	0.48
6. 新規求人倍率	-2.54	-1.37	1.09	-0.67	-0.84	-0.39	1.48	-1.08	-1.10	1.32	-1.36	0.68
7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.04	-1.75	-0.01	-0.01	-0.81	0.01	0.01	2.08	-0.03	-0.03	1.46	-0.04
8. 一致指数トレンド成分	0.13	0.12	0.18	0.20	0.13	0.11	0.10	0.07	0.11	0.07	0.01	0.15
一致指数（C I）	95.6	96.8	98.0	99.7	97.6	97.3	99.0	98.7	95.6	91.8	88.6	89.2
前月差(ポイント)（寄与度合計）	0.40	1.20	1.29	1.62	-2.10	-0.29	1.76	-0.32	-3.14	-3.75	-3.28	0.64
一致系列寄与度内訳												
1. 公共工事受注額	-0.12	0.47	-0.31	-1.80	0.09	-0.94	-0.69	-0.97	-1.79	-0.22	0.22	0.39
2. 観光施設利用者指数	0.77	-0.50	0.48	1.84	-1.83	0.70	0.14	-0.23	-0.06	0.07	0.37	-0.58
3. 大型小売店等販売額	-0.14	-0.32	-0.21	0.66	0.61	-1.81	1.45	-0.45	0.18	0.11	-0.06	-0.25
4. 鉱工業生産指数	-0.16	0.89	-0.04	-0.94	0.97	-0.60	0.04	-0.45	-0.20	0.31	-1.35	0.93
5. 鉱工業出荷指数	0.25	0.45	-0.11	-0.41	0.42	-0.11	-0.10	-0.74	0.76	-0.17	-1.36	0.75
6. 小名浜港輸入通関実績	-0.23	0.62	-0.14	0.42	0.02	0.71	-0.83	-0.23	0.50	-0.94	0.45	0.13
7. いわき市中小企業融資残高	0.69	-0.48	1.78	1.78	-1.88	1.43	0.66	1.78	-1.88	-1.79	-1.71	-0.92
8. 有効求人倍率	0.04	0.33	-0.50	-0.28	0.05	-0.34	0.75	0.41	-0.68	-1.16	0.03	0.18
9. 高速道路出入交通量	-0.70	-0.26	0.34	0.35	-0.54	0.67	0.35	0.56	0.04	0.05	0.14	0.01
遅行指数（C I）	82.6	86.5	86.9	89.0	89.1	86.7	89.9	87.5	90.9	89.0	87.9	88.7
前月差(ポイント)（寄与度合計）	4.63	3.85	0.44	2.09	0.13	-2.45	3.16	-2.38	3.44	-1.90	-1.07	0.80
遅行系列寄与度内訳												
1. 入湯税調定人員	0.46	1.27	0.28	0.37	-0.30	-2.77	2.65	-2.80	1.49	0.62	-1.25	0.17
2. いわき市中央卸売市場取扱高	1.60	-0.16	0.94	0.82	-0.45	1.98	-1.33	-0.07	0.88	-1.72	1.97	0.72
3. 鉱工業在庫指数	0.46	0.91	0.60	-0.08	0.77	-0.22	0.26	1.27	0.21	-0.50	-0.41	-0.27
4. いわき市中小企業融資利率	2.30	2.40	-2.11	-0.03	-0.25	-1.95	1.93	-0.02	-0.95	0.06	0.37	0.17
5. 法人市民税調定額	-0.97	0.50	-0.02	0.95	0.17	0.20	-0.93	-0.17	0.92	-0.02	-0.68	-1.84
6. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.68	-1.20	0.59	-0.14	0.07	0.19	0.49	-0.68	0.79	-0.41	-1.07	1.72
7. 一致指数トレンド成分	0.11	0.11	0.17	0.19	0.12	0.11	0.09	0.07	0.11	0.07	0.01	0.13

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

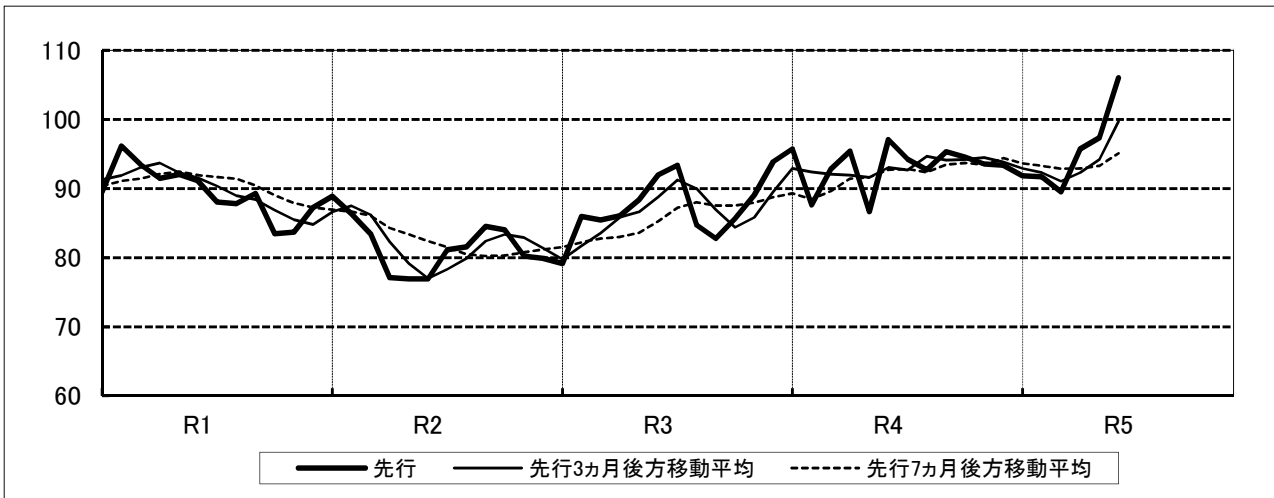
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

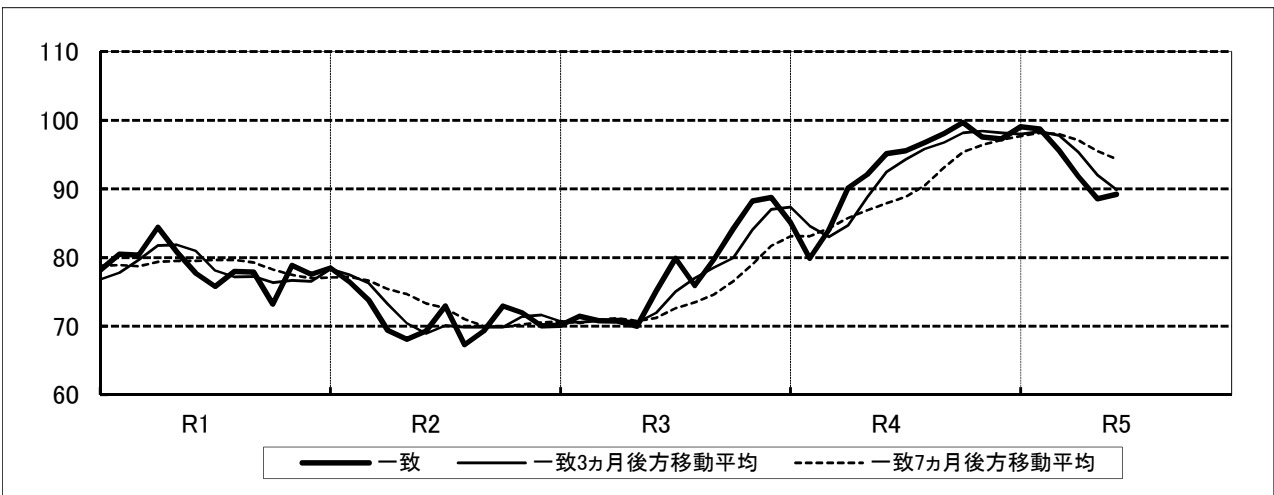
・先行指数の推移

(平成27年=100)



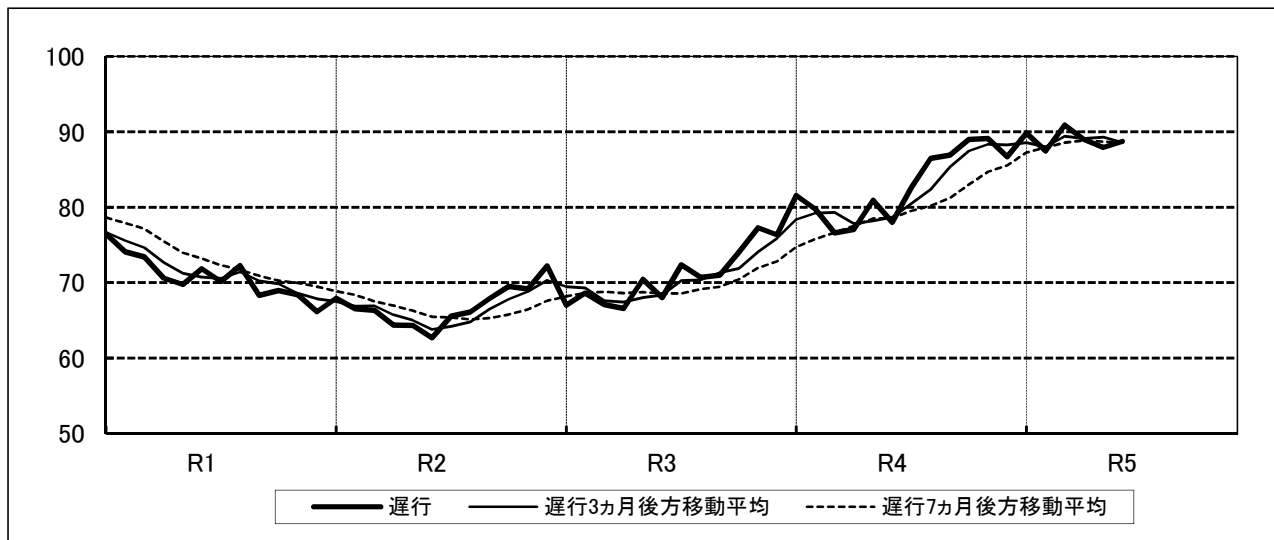
・一致指数の動向

(平成27年=100)



・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	118.3	126.9	125.2	107.9	116.8	110.8	111.7	110.8	110.1	110.0	105.2	110.0
27	109.7	101.1	105.4	99.6	97.1	99.9	99.7	98.5	98.5	98.9	98.7	92.9
28	95.1	89.7	84.3	91.2	90.5	85.9	91.5	87.3	82.8	87.8	87.6	90.5
29	85.7	88.5	89.5	91.6	89.6	96.0	89.5	94.9	96.8	91.1	90.5	95.1
30	94.5	93.1	91.2	92.8	93.3	92.1	91.0	91.3	86.5	89.9	94.4	90.0
1	89.5	96.2	93.5	91.5	92.0	91.1	88.0	87.8	89.3	83.5	83.7	87.2
2	88.9	86.3	83.4	77.1	76.9	77.0	81.1	81.6	84.5	84.0	80.2	79.9
3	79.2	86.0	85.5	86.1	88.4	92.0	93.4	84.7	82.8	85.6	89.0	93.9
4	95.7	87.6	92.8	95.4	86.6	97.1	94.3	92.7	95.3	94.5	93.6	93.4
5	91.9	91.7	89.5	95.7	97.4	106.0						

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	106.1	101.2	107.7	99.8	101.4	103.6	104.6	108.5	106.2	106.1	102.1	100.0
27	103.1	101.9	100.8	102.5	101.5	99.7	101.0	101.2	101.0	96.9	95.8	94.6
28	94.2	93.2	87.2	90.1	86.8	90.1	91.0	87.8	90.3	94.6	97.3	98.3
29	96.0	95.9	96.8	95.7	96.6	95.6	91.0	92.5	91.1	88.9	90.7	93.3
30	90.5	90.4	88.0	86.4	86.6	82.2	79.9	81.8	79.8	79.8	77.6	74.7
1	78.2	80.5	80.4	84.4	80.8	77.7	75.8	78.0	77.9	73.2	78.9	77.6
2	78.5	76.4	73.8	69.4	68.1	69.3	72.9	67.3	69.3	72.9	71.9	70.1
3	70.1	71.5	70.8	70.8	70.0	75.1	79.9	75.9	79.8	84.2	88.2	88.8
4	85.1	79.9	84.1	90.2	92.1	95.2	95.6	96.8	98.0	99.7	97.6	97.3
5	99.0	98.7	95.6	91.8	88.6	89.2						

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	100.8	103.1	100.5	102.6	106.8	105.5	101.9	100.7	97.6	98.4	98.6	100.8
27	101.0	100.7	106.3	103.3	102.5	99.0	100.9	98.6	99.3	98.8	95.1	94.5
28	93.6	97.4	93.4	92.4	90.3	88.8	88.4	89.7	87.7	89.5	86.8	85.7
29	88.4	82.2	86.2	83.4	79.5	78.9	78.3	76.1	79.6	77.0	79.0	81.3
30	76.9	76.7	80.7	78.7	83.8	82.1	79.0	79.0	82.1	80.3	77.4	76.2
1	76.5	74.1	73.4	70.6	69.8	71.9	70.1	72.3	68.3	69.0	68.4	66.2
2	68.0	66.5	66.3	64.4	64.3	62.7	65.6	66.1	67.9	69.5	69.2	72.2
3	67.0	68.6	67.1	66.6	70.4	68.0	72.4	70.7	71.0	74.0	77.3	76.3
4	81.6	79.7	76.6	77.1	80.9	78.0	82.6	86.5	86.9	89.0	89.1	86.7
5	89.9	87.5	90.9	89.0	87.9	88.7						

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 6月は、57.1%と10ヵ月振りに50%を上回った。

【一致指数】 6月は、22.2%と5ヵ月連続で50%を下回った。

【遅行指数】 6月は、50.0%と2ヵ月連続で保ち合いとなった。

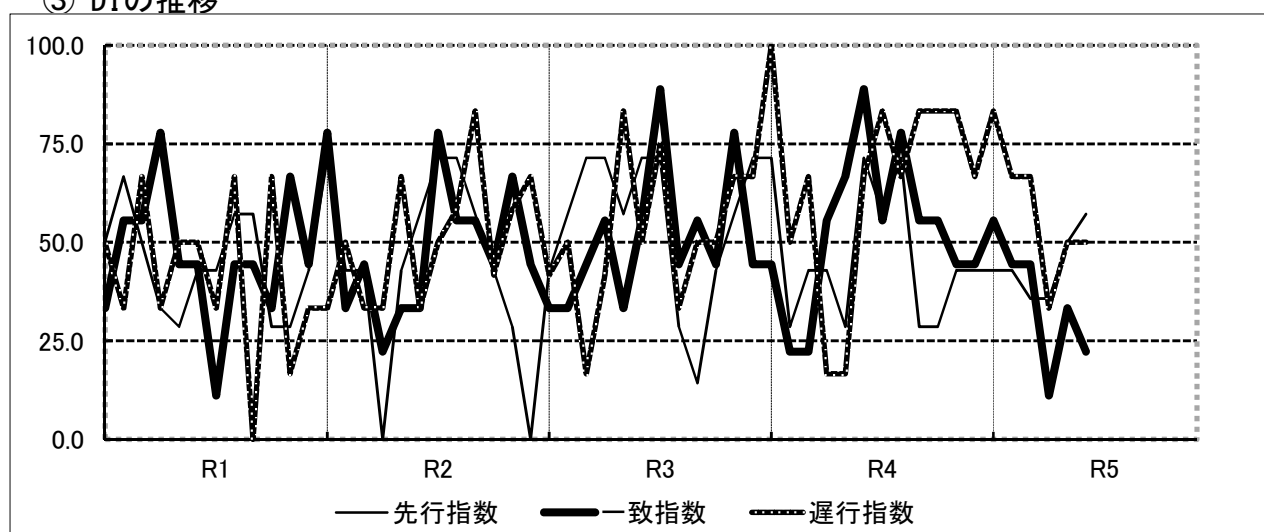
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

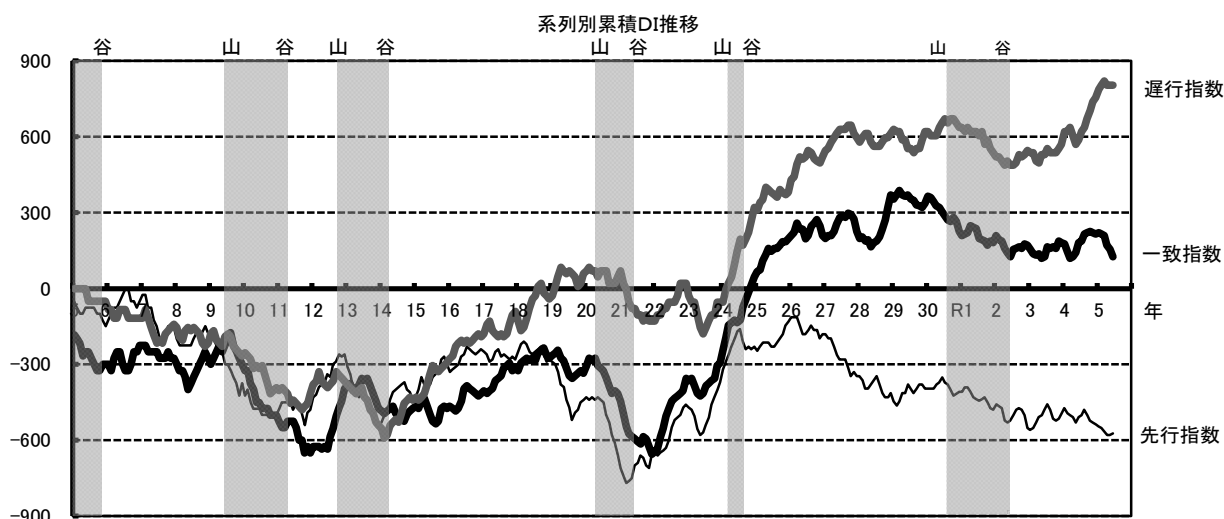
区 分	令和4年						令和5年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先行指数 (D . I)	57.1	71.4	28.6	28.6	42.9	42.9	42.9	42.9	35.7	35.7	50.0	57.1
一致指数 (D . I)	55.6	77.8	55.6	55.6	44.4	44.4	55.6	44.4	44.4	11.1	33.3	22.2
遅行指数 (D . I)	83.3	66.7	83.3	83.3	83.3	66.7	83.3	66.7	66.7	33.3	50.0	50.0

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

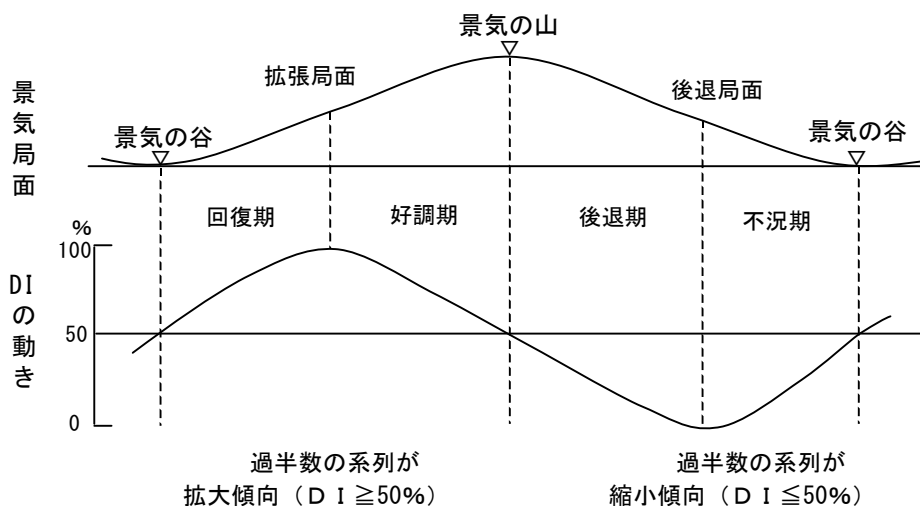
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 = 0.333$ (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期)原数値、移: 12ヵ月移動平均
逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、持ち直している。 ・設備投資は、持ち直している。 ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、持ち直しの兆しがみられる。 ・企業収益は、総じてみれば緩やかに改善している。企業の業況判断は、持ち直している。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、上昇している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和5年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費……緩やかに持ち直している。 ・建設需要……高水準にあるものの、弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……緩やかな改善が続いている。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数は前年と同数になったが、負債総額は前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 <p>(福島県「最近の県経済動向」令和5年8月公表分)</p>

2 景気動向指数(CI)

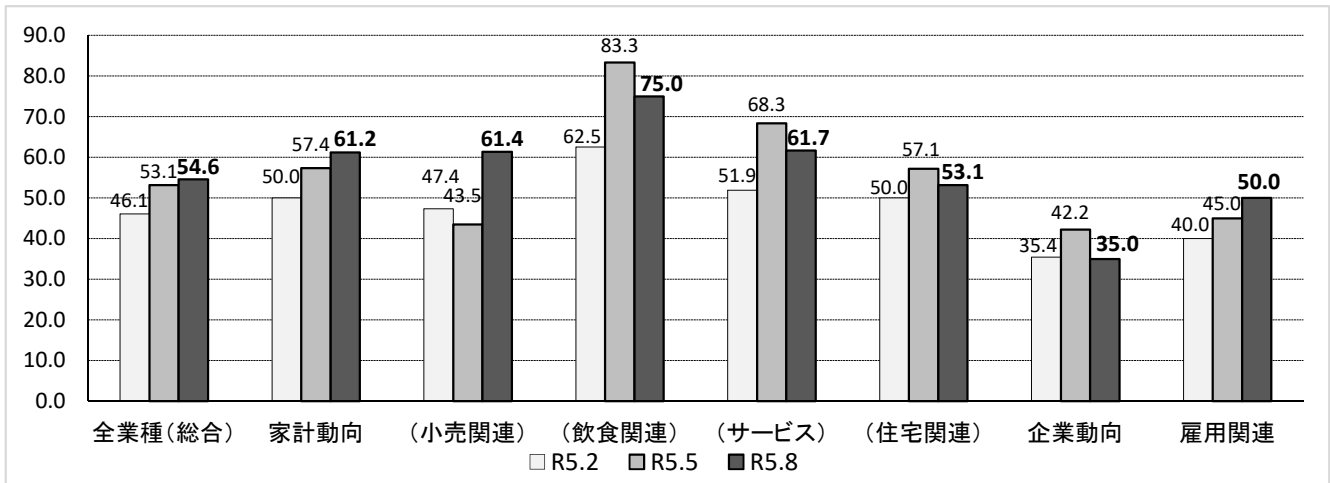
(1) 国の動向	<p>6月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:108.9、一致指数:115.2、遅行指数:107.3となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.2ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.30ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.10ポイント下降し、14ヵ月連続の下降となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して0.9ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.37ポイント上昇し、5ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.20ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.4ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.77ポイント上昇し、15ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.38ポイント上昇し、16ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和5年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数111.9ポイント、一致指数81.3ポイント、遅行指数108.2ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(107.6ポイント)を4.3ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(75.5ポイント)を5.8ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(106.7ポイント)を1.5ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>鉱工業生産指数、生産財出荷指数、最終需要財出荷指数、雇用保険受給者実人員、所定外労働時間指数(全産業)、百貨店・スーパー販売額(既存店)、有効求人倍率</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>建築着工床面積(鉱工業)</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和5年8月公表分)</p>

II いわき市景気ウォッチャー調査：令和5年8月時点

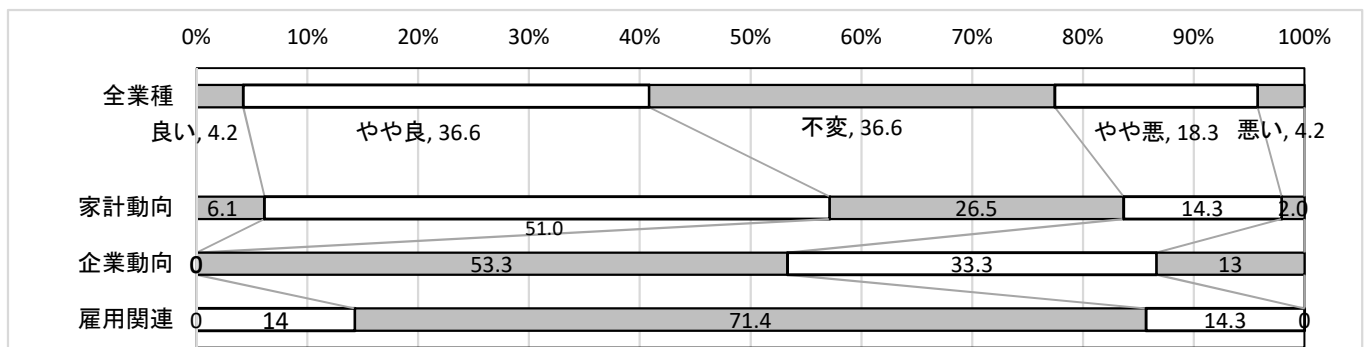
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは54.6と、前回より1.5ポイント上昇した。内訳では、家計動向、雇用関連が上昇し、企業動向が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が61.2と前回より3.9ポイント上昇した。家計の内訳は、小売のみが上昇し、飲食、サービス、住宅関連が低下した。企業動向は35.0と7.2ポイント低下し、雇用関連は50.0と5.0ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は4.2%であり、「やや良くなっている」が36.6%、「変わらない」が36.6%、「やや悪くなっている」が18.3%、「悪くなっている」が4.2%となった。



(2) 現状判断の理由

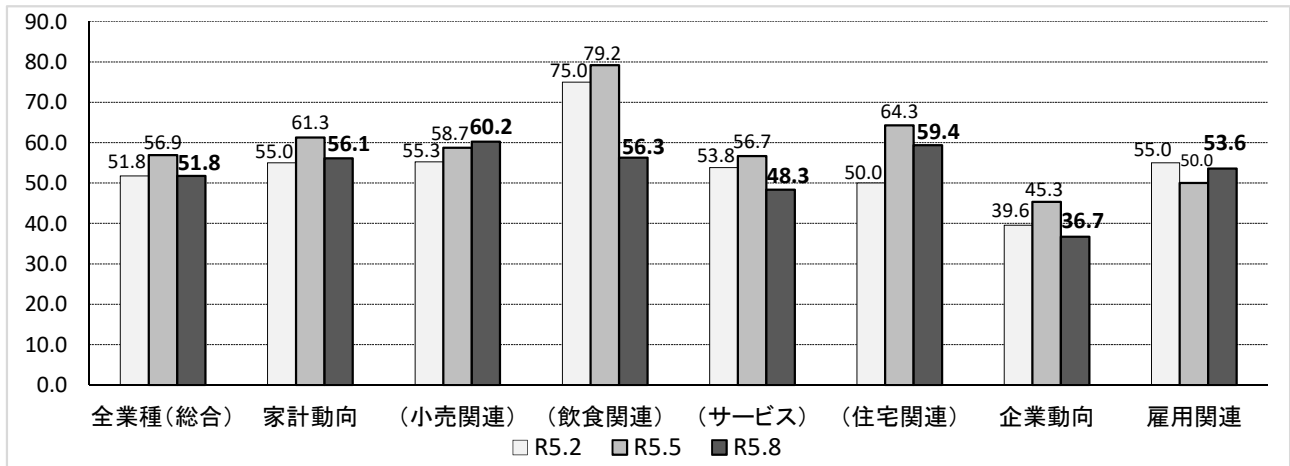
現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	11	7	0	18	1. 受注量や販売量	0	2	4	6	1. 求人数の動き	0	2	0	2
2. 販売量の動き	10	2	2	14	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	0	2	2	4	3. 取引先の様子	0	6	2	8	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	6	1	3	10	4. 競争相手の様子	0	0	1	1	4. 周辺企業の動き	1	1	1	3
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	1	1	1	3										
合計	28	13	8	49	合計	0	8	7	15	合計	1	5	1	7

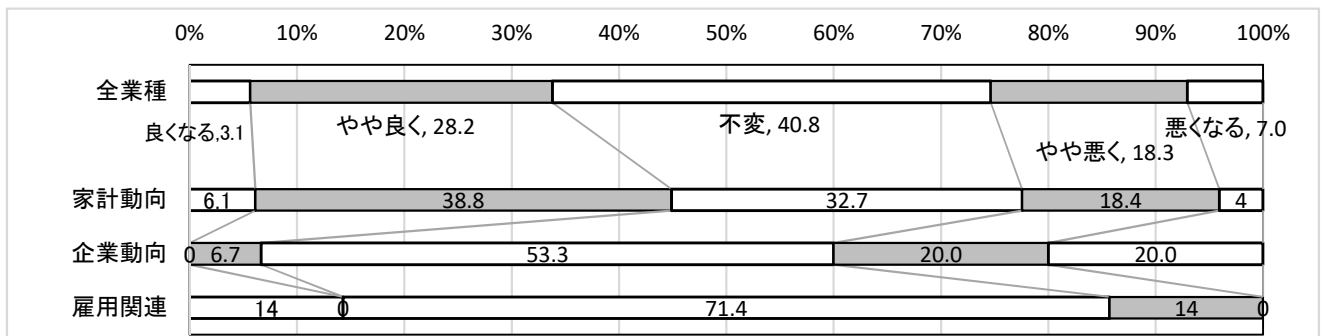
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは51.8と、前回より5.1ポイント低下した。内訳では、雇用関連が上昇し、家計動向、企業動向が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が56.1と前回より5.2ポイント低下した。家計の内訳では小売のみが上昇し、飲食、サービス、住宅関連が低下した。企業動向は36.7と8.6ポイント低下し、雇用関連は53.6と3.6ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が28.2%、「変わらない」が40.8%、「やや悪くなっている」が18.3%、「悪くなっている」が7.0%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」や「お客様の様子」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「求人数の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	8	5	1	14	1. 受注量や販売量	1	3	3	7	1. 求人数の動き	0	3	0	3
2. 販売量の動き	5	3	2	10	2. 受注価格や販売価格	0	0	2	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	2	2	5	3. 取引先の様子	0	5	1	6	3. 採用者の動き	1	0	0	1
4. お客様の様子	7	5	2	14	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	1	1	4	6										
合計	22	16	11	49	合計	1	8	6	15	合計	1	5	1	7

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(街の様子)

- いわき踊りが再開され、今後の景気も期待される。
- 猛暑のせい、4年振りのイベントも若者ばかりで中高年者をほとんど見なかった。
- 夏のイベント（小名浜花火大会やいわき七夕祭り）など多彩な催しが通常開催となり、多くの人で賑わった。コロナが5類になったこの先もプラス要因として消費も拡大、景気上昇につながる事を期待したいと思う。

(コロナ禍など)

- コロナが5類に分類され、人々の生活も少しずつストレスから解放され、しかし、全て元どおりとはならず。少人数での会食は再開されたようである。
- コロナ禍が落ち着いてはきたが、7月8月と猛暑による商店街への客足も減っているように思う。
- 経営相談では、「コロナ融資に手を付けずにいたが、いよいよ手をつけなければならない」という内容が増えてきたように感じる。また支援先からの報酬支払いが滞っていることから、悪くなるのではないかと感じている。
- 市内はコロナ禍が終息の兆しを見せ、活気を取り戻しつつあるように見える。
- アルプス処理水海洋放出の開始による影響が懸念される。

(物価)

- 光熱費及び原材料費の高騰で利益率が圧迫。値上げも出来にくい状況で、いつ、どのようにして価格転嫁をはかるか、周囲の状況とも関連して難しい問題である。光熱費は1.5倍以上の負担増、さらに猛暑により負担が増している。夏休みを終えた今、今後の動向が心配である。
- 原料の高騰で物の価格も上昇し、それに伴って売上が伸びているだけで、景気が上向きになっているとは考え難いが、今後は外国からの観光客も増えると予想されるので、それに伴い少しずつ景気は良くなると思われる。
- 燃料については政府補助の終了に伴い価格上昇がさらに続く見込み。数量指定した給油が増えて消費控えなどにより数量減販予想。来客数は変わらない見込み。

(労働力)

- 各顧客の労務確保が思う様に行かず、受注に対するブレーキとなっているという話題が多くなっている。
- 人員不足の為、2種免許を取得するための補助金制度など検討してほしい。
- 人材不足が喫緊の課題である。
- 全国の動きに比べて緩慢ではあるが「求人動向」「賃金」等、改善傾向が見られる。

- いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連76人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計107人を調査客体とする。

今回（令和5年8月）の調査の回答数は71人（有効回答率66.4%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	76人	71%	49人	
小売関連	34人	32%	22人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	4人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	25人	23%	15人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	8人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	15人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	7人	人材派遣、職業紹介等
合計	107人	100%	71人	

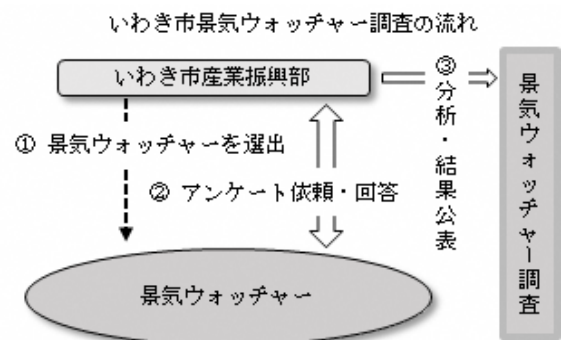
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
